

附属小学校

小学校教育目標

明日につながる学びを創る ～学びの楽しさを実感できる学校～

めざす子ども像

かしこく

自らの問いを追究し、
学びの価値を見出す子

やさしく

相手意識をもち、
自分自身を律する子

たくましく

心身ともに健康で、
目標に向かって粘り強く取り組む子

めざす学校像

- 学びの楽しさを実感できる学校
- 開かれた学校
- 美しい学校

めざす教師像

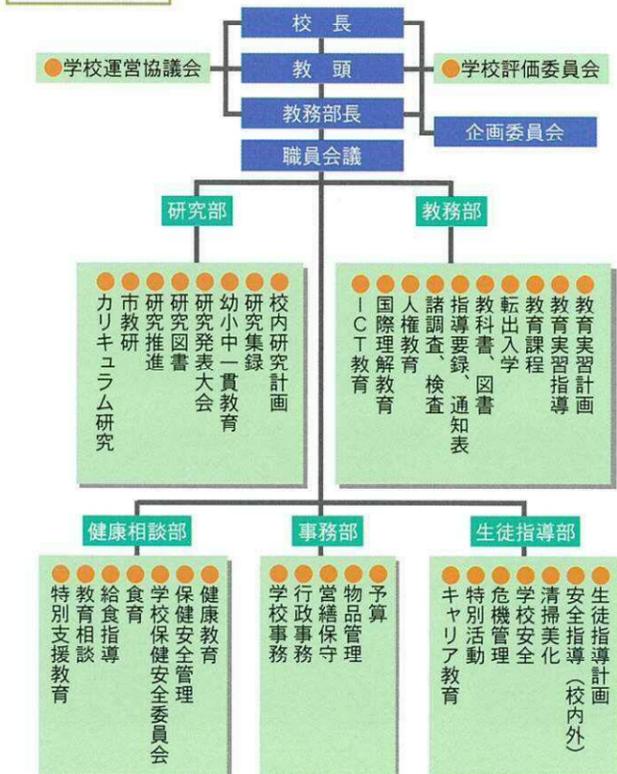
- 一人ひとりの力を伸ばす教職員
- 謙虚に学び続ける教職員
- 教育の専門家としての教職員



経営機構

在籍児童数（5月1日現在）							
学年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数	70	68	66	65	67	67	403

校務運営機構



教職員一覧

職名	氏名	担当等	研究教科等	校務分掌等
校長	吉鶴 修			学校運営全般・総務
教頭	中村 裕司			学校運営全般・総務・教務部長
教務	重枝 孝明		家庭科	学校運営全般・総務・教務部長
教諭	志賀 直美	1年1組	生活	健康相談部長・特別支援・企画運営
"	中川 穂	1年2組	道徳	研究・研究推進・道徳教育・人権教育
"	五十部 大暁	2年1組	国語	生徒指導部長・企画運営
"	田中 博	2年2組	体育	生徒指導・環境整備
"	今津 圭佑	3年1組	図画工作	研究・一貫CO・企画運営
"	林 絵梨	3年2組	算数	教務・入試
"	後藤 大雄	4年1組	外国語	教務・教育実習
"	田島 大輔	4年2組	社会	研究・連携・渉外
"	石田 千陽	5年1組	音楽	生徒指導・特別活動・企画運営
"	久保田 大貴	5年2組	総合	教務・学籍・教科書・ICT教育
"	池永 亜由美	6年1組	国語	健康相談・教育相談・企画運営
"	原田 勝	6年2組	体育	生徒指導・安全教育
"	岡本 貴裕	専科	算数	研究部長・研究推進・企画運営
"	津守 成思	専科	理科	研究・教科経営
養護教諭	田中 小百合	保健		健康相談・保健指導
非常勤講師	古谷 佳世	書写・家庭科		
"	中重 陽子	外国語		
"	上田エカテリーナ	外国語		
"	久保田 尚	音楽		
"	伊賀 友弥	体育		
"	村崎 賢一	通級指導		
補助教員	田村 智香			
補助教員	西田 裕希			
補助教員	岡村 駿汰			
栄養教諭	瓦屋 大志	栄養・栄養指導		健康相談・食育・給食指導
係長	佐藤 広江	事務		事務・経理・庶務
事務補佐員	中塚 理絵	事務		事務・経理・庶務
校務員	久保田 活志	校務		用務
給食調理員	井上 純子	給食調理		給食
"	國司 さおり	給食調理		給食
"	杉山 志津佳	給食調理		給食
"	長崎 梢	給食調理		給食
"	波戸崎 マコ	給食調理		給食
"	村中 智子	給食調理		給食
PTA事務	藤田 由美子	PTA事務		事務・経理・庶務
図書支援員	上村 久美	図書		図書

教育課程の計画と運営

1日の生活

8:05	朝の会
8:30	A 1
	A 2
9:15	A 3
9:20	A 4
	A 5
10:05	A 6
10:20	B 1
	B 2
11:05	B 3
11:10	B 4
	B 5
11:55	B 6
13:35	C 1
	C 2
14:20	C 3
14:25	C 4
	C 5
15:10	C 6

- 委員会：年10回、クラブ：年9回
火曜日14:30～15:15
- 年間行事予定
- 参観日・・・月1回程度実施
- 身体測定・・・4、10、1月に実施

- 登下校は8:05まで
- 全校朝会8:10～
- 朝の会8:05～8:25

Aの時間帯(6M)

- 5分間の授業準備(移動時間を含む)を入れて6Mとする
- A6のあと15分間の中間休みをとる(10:05～10:20)

Bの時間帯

- 5分間の授業準備(移動時間を含む)

Cの時間帯

- 午後の授業時間を次の通りとする
- 月) 1年 3M(14:20) 2～6年 6M(15:20)
- 火) 1～3年 3M(14:30) 4～6年 6M(15:20)
- ※委員会活動を行う日は4年生の下校時刻は14:30
- 水) 1～6年 3M(14:30)
- 木) 1～6年 3M(14:20) ※そうじなしのため
- 金) 1・2年 3M(14:30) 3～6年 6M(15:20)
- ※()は下校時刻



研究活動

附属山口小学校は、2018年度から5年間、研究開発指定校として、新教科「創る科」を設置し、「価値の創出と受容、転移をコアにした教科融合カリキュラムの開発」を主題として研究に取り組んでいる。本研究は、子どもが学びの中で無自覚であった価値や各教科等の本質(見方・考え方)を自覚し、他の場面や文脈においても活用できるのかを考えたり、実践したりすることで、これらを自在に使いこなす力を育てることができるようにすることをねらいとしている。

【研究開発主題】価値の創出と受容、転移をコアにした教科融合カリキュラムの開発～「創る科」の創設を通して～

【創る科】(新教科)

本校で設定した8つの価値を学習内容として直接的に扱い、各教科等の学びの中で自在に使いこなしていく資質・能力である「汎用的スキル」を育てることができるようにする。

【各教科等】

創る科で扱った価値を意識しながら、各教科等の本質(見方・考え方)を明らかにして授業実践を行い、3つの資質・能力(「知識及び技能」「思考力、判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)を育成する。

○創出と受容、転移の過程を意識して授業実践を行う。

創出：無自覚ではあるが、価値を生み出したり、示された価値について考えたりする過程

受容：無自覚であった価値を自覚的に捉えたりする過程

転移：①受容した価値や本質を他の文脈や場面においても、活用できるのかを考えたり、実践したりする過程

②「創る科」の学習で創出と受容、転移した価値を各教科等の学習に活用できるのかを考えたり、実践したりする過程

○幼小中一貫教育の視点である子どもの3つの姿「対象と向き合う姿」「他者と向き合う姿」「自己と向き合う姿」を視点として授業改善を図る。

